

〈シンポジウム〉

総題：動物——倫理への問い……………1

動物の権利はなぜ説得力を持つのか……………伊勢田哲治……………3

——倫理的帰属者文脈主義の試み——

動物たち（と）の自由な関係へ向けて……………伊勢俊彦……………13

——哲学史からの展望——

ウサギと脳死者……………古牧徳生……………23

動物園における倫理的課題と実践……………上野吉一……………34

ディスカッション要録……………工藤和男・江口聡……………44

〈依頼論文〉

死生観をめぐる問題……………大町 公……………55

——受容とあきらめ——

〈公募論文〉

アンセルムスの幸福主義……………斎藤大樹……………66

——意志決定における正直と有益性のかかわりから——

構想することと、判断すること……………永守伸年……………78

——批判期カントの道徳判断論——

意志することと生まれ出づること……………三浦隆宏 90

——アレント政治理論における「自由の深淵」という問題——

二つの「痕跡」の交差……………亀井大輔 102

——デリダとレヴィナスのあいだで——

ミシェル・アンリにおける他者関係……………古荘匡義 113

——一九八〇年代の生——世界の概念から——

帰結主義の必要条件とその根拠……………鈴木 真 125

ホモセクシュアリティをめぐって……………魚住洋一 137

——「社会構築主義・本質主義論争」の側面——

〈書評〉

鷲田清一監修、本間直樹・中岡成文編『ドキュメント臨床哲学』大阪大学出版会、

二〇一〇年……………奥田太郎 149

亀喜信『ハンナ・アレント——伝えることの人間学』世界思想社、二〇一〇年……………志水紀代子 159

高橋雅人『プラトン『国家』における正義と自由』知泉書館、二〇一〇年……………田中龍山 172

「プラトンの自由」は自由か？

柘植尚則『イギリスのモラリストたち』研究社、二〇〇九年……………林 誓雄 184

学会からのお知らせ……………196